

<目次>

Contents

巻頭の辞 林 珠雪 / 3

<特集>—台湾で考える日本文学教育—

日本／国民国家論／台湾  
——国民国家論の日本語教育への導入に関する一考察—— 榊 祐一 / 9

台湾の高等教育機関における日本語教育と「文化・教養」の継承のあり方  
—水村美苗『日本語が亡びるとき』をめぐる議論を補助線として— 坂元さおり / 30

「日本文学史」を解体する「日本文学史」の授業は可能か  
—東海大学・慈済大学での試みを例に— 笹沼 俊暁 / 47

ゼロ年代の日本文学を台湾人学生に教える際  
直面する諸問題とその展望 南 雄太 / 57

台湾の高等教育機関における  
「日本古典文学」教育の現状と課題 内田 康 / 76

台湾における日本文学／日本語文学研究  
—日本統治期以来台湾の歴史的な歩みからみる— 呉 佩珍 / 96

<文学>と文学のあいだ  
——東海大学における文学教育の試み—— 蕭 幸君 / 101

<投稿論文>

<目次>

Contents

台湾人日本語話者の敬語意識：  
PAC分析(個人別態度構造分析法)を用いた事例研究 藤原智栄美 /115

国文学者の戦後と冷戦  
—西郷信綱の「国民文学」と「世界文学」言説— 笹沼 俊暁 /130

<書評・映画評>

笹沼俊暁『リービ英雄(鄙)の言葉としての日本語』 橋本 恭子 /159

<資料紹介>

泰文標音潮州音《心經》 北川 修一 /165

<実践報告>

傍らから済洲島江汀村海軍基地建設阻止活動 黄 淑燕 /169